

愛知大学

イメージング・アジアーアジア協同体をデザインする

実施期間：2015年9月~2016年2月

- 第1回 「イントロダクション・方法としての<イメージング・アジア(IA)>」  
鈴木規夫（愛知大学・教授）
- 第2回 「<近代の超克>論における<アジア>」  
鈴木規夫（愛知大学・教授）
- 第3回 「儒家—イスラーム・コネクション(1)」  
鈴木規夫（愛知大学・教授）
- 第4回 「<アジア>における恥辱と矜持をめぐるトラウマー<自発的隷従>の現状(1)」  
西谷修（立教大学・教授）
- 第5回 「<アジア>における恥辱と矜持をめぐるトラウマー<自発的隷従>の現状(2)」  
檜村愛子（愛知大学・教授）
- 第6回 「儒家—イスラーム・コネクション(2)」  
渡辺信一郎（元 京都府立大学・学長）
- 第7回 「<アジア>理解と和解への道—歴史認識と<アジア知識人>の構築可能性(1)」  
入江昭（ハーバード大学・名誉教授）
- 第8回 「<アジア>理解と和解への道—歴史認識と<アジア知識人>の構築可能性(2)」  
バラック・クシュナー（ケンブリッジ大学・准教授）、徐静波（復旦大学・教授）、蔵志軍（復旦大学・教授）
- 第9回 「儒家—イスラーム・コネクション(3)」  
臼杵陽（日本女子大学・教授）
- 第10回 「<アジア>における価値共有の可能性」  
鈴木規夫（愛知大学・教授）
- 第11回 「<アジア>における<立憲主義>の文学的位相」  
島村輝（フェリス女学院大学・教授）
- 第12回 「モンゴル・ネットワークの世界デザインと<アジア>—「アジアの臍」としての張家口をめぐる」  
ウラディーン・ブラグ（ケンブリッジ大学・准教授）
- 第13回 「イメージング・アジア—<リバランス>再調整期のアジア共同体を想起する(1)」  
グレン・フック（シェフィールド大学・教授）
- 第14回 「イメージング・アジア—<リバランス>再調整期のアジア共同体を想起する(2)」  
加々美光行（愛知大学・名誉教授）
- 第15回 「アジア共同体の未来」  
佐藤洋治（ワンアジア財団・理事長）、鈴木規夫（愛知大学・教授）

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。